

宿縁

八月号

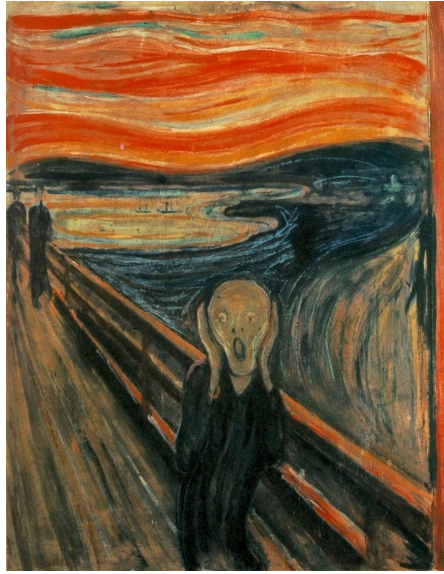
千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号

浄土真宗
本願寺派 **中原寺**

TEL 0477-372102
FAX 0477-372102

どんな時でも真ん中に

人間がいてほしい



『叫び』 エドヴァルド・ムンク

「閑さや 岩にしみ入る 蝉の声」

年ごとに沸騰する厳しい暑さに辟易して
います。

同時に日々報じられる国内外の動向(戦争、
紛争、テロ、対立、排除、難民、貧困、詐欺、
金融不安等々)に生きる限りの困難さを実感
します。目を覆い耳を塞ぐノルウエーの画家
ムンクのあの名画「叫び」そのままが人間の
姿なのかと思わずにおれません。

そんななかにもふと口について出たのが冒
頭の松尾芭蕉の有名な俳句です。門弟曾良を

伴い江戸千住から出立した奥の細道の旅。
やがて出羽の国の山寺立石寺について時に
詠んだ発句です。

「この山寺の静かなことよ、岩に沁みこ
むように蝉の声が聞こえてくる」

立石寺は人里離れ、世間の喧騒を離れた
山の上です。現在は眼下に仙山線の「山寺」
という小さな駅がありますが、勿論芭蕉が
旅したころは鉄道なんかありません。
夏の暑さにあえぎながらも静寂の中にニイ
ニイゼミの岩に沁み入るような声があった
のでしよう。目を閉じてその声に聞きいっ
た情景が時空を超えて偲べれます。

江戸時代に始まった俳句は、現代に到る
まで多くの俳人が様々な情景や心情を詠ん
で受け継がれています。でも正直なところ
最近のテレビ番組などでやっているのを見
るとだんだん素朴さが感じられず、上手さ
を競う形になっていて抵抗を感じます。

俳句も歌もなにげなく口ずさむことがで
きるところに親しみを感じ、現実の疲れか
らふと解放される大切な空間を埋めてくれ
るものだと思います。

わが青春時代、1960年代、70年代
頃はフォークソングがはまりました。

その頃日本の若者たちは、当時の社会情
勢に反発し、自由を求め、フォークソング
に熱中しました。

1973年、南こうせつとかぐや姫が歌

う「神田川」がヒットしました、中高年には
今でも歌い継がれている、あるがままの良さ
を感じさせる詞だ
と思います。

♪貴方は もう忘れたかしら

赤い手ぬぐい マフラーにして

二人で行った 横丁の風呂屋

一緒に出ようねって 言ったのに

いつも私が 待たされた

洗い髪が 芯まで冷えて

小さな石鹸 カタカタ鳴った

貴方は私の からだを抱いて

冷たいねって 言ったのよ

若かったあの頃 何も怖くなかった

ただ貴方のやさしさが 怖かった

貴方は もう捨てたのかしら

二十四色の クレパス買って

貴方が描いた 私の似顔絵

うまく描いてねって 言ったのに

いつもちっとも 似てないの

窓の下には 神田川

三帖一間の 小さな下宿

貴方は 私の指先見つめ

悲しいかいって きいたのよ

若かったあの頃 何も怖くなかった

ただ貴方のやさしさが 怖かった♪

この名曲誕生の秘話を南こうせつさんが
ある紙面で次のように語っています。

「当時の時代の流れとして、ベトナム戦争

があつて、今のロシアとウクライナもそうで

すけど、大義名分のない争いになって、アメ

リカの若者たちが戦争に取られてしまうの

です。日本でも沖縄から戦闘機がナパーム弾

を積んで出ていくんです。それに対して、ア

メリカの若者たちは、反戦の歌をいっぱい、

メッセージとして歌っていました。われわれ

も歌っていましたが、過激な人たちは『戦争

をやめろ』と、デモをして、それが70年安

保闘争と一緒にあって、若い人たちが手を挙

げていきました。時代が変わって、それが封

じ込められて、純粹に新しい世界を創るんだ

と言つて手を挙げていた若者たちが、内部抗

争を始めるんです。そこで、『フツ』とため

息をつくような空白のときが二、三年出来る

んです。そんなときの『神田川』でした。

あの詞を書いたのは喜多條忠で、彼も早稲田
の学生で、ヘルメットを被って、機動隊に石
を投げていたんです。その彼が週末同棲をし
ていて、三帖一間の部屋で何もなかったよう
な平和な時間を過ごし、彼女が用意してくれ
たカレーライスを食べるんです。時が止まっ
たような、その空白のような時を書いたよう
におもいます。」(御堂さん8月号対談)

人間は何か世相の矛盾を感じて、行動的に
なるときがあります。そしてまた「フツ」と
ため息をつくような空白を覚えます。持続出
来ない人間の弱さというものでしょうか。
しかし一瞬の間に安らぎを感じ、身近にあ
った大切な宝に潤わされるのです。
身近なもの存在は意外と気づかないの
が私たちです。
『南無阿弥陀仏は、かげとかたちとのごと
くにて、よるひるつねにまもるなり』と、親
鸞聖人は教えてくださいます。

【寺灯雑記】

○心を整える会のプレ大会実施

7/20

八月より正式にスタートする「心を整える会」のリハーサルを兼ねて、有志によるプレ大会を実施しました。

クーラーの効いた間法会館ではなく、あえて扇風機のみの本堂で読経に続き、座禅と写経を行いました。大粒の汗をかきながらも、時に心地よい風を感じることができました。難しいことは一切なし！今までお寺の敷居を高い、と感じている方もお気軽にご参加ください。



○笑顔はじけるファミリーパーティー

7/28

今年の中原寺ファミリーパーティーも百名を超える方がご参加くださり、猛暑のなか、賑やかに開催されました。

今回の目玉は、津軽三味線の大会で優勝経験もある渋谷幸平さんによるライブでした。間近で聞く津軽三味線の音色は迫力満点で、民謡をはじめ、子どもたちにも馴染みのある曲も演奏くださいました。

また、ライブ後には参加者に演奏体験の指導もしてくださり、こちらも大好評でした。

毎年恒例のビンゴ大会も大いに盛り上がり、飲食スペースでは冷えたビールやかき氷を手にも多くの笑顔を見ることができました。

当日、準備や後片付けのお手伝いもしてくださったスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。



【法要・法座のご案内】

◎盂蘭盆会法要並びに全戦没者追悼会

*八月十一日(日) 十時

おつとめ・重誓偈(ちかいのうた)

…仏説阿弥陀経

讚仏歌 …み仏にいだかれて



法話：南條了瑛師(築地法重寺)

亡き方の生きた証(あかし)を偲び、共に浄土往生の道を歩みましょう。

○親鸞セミナー(無量寿経解説) 前任職

*八月二十四日(土) 二時

○心を整える会

*八月三十一日(土) 十時～昼

読経、座禅・写経体験

持ち物：千円、筆ペン、疲れた心

今までお寺に興味があっても、何か一歩が踏み出せなかったかたも、はじめはみんな初心者。とにかくお気軽にご参加ください。関心がある方はお寺に連絡くださるか、先のQRコードよりLINEにてお知らせください。



※お知らせ

八月の婦人会法座はお休みです。

尚、九月の讚寿の集いは十月に変更して行い、九月の婦人会法座は七日(土)一時から開催と致します。

【八月の掲示板のことば】

吾輩は

凡夫である

自覚はまだない